

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科		言語聴覚士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名		看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		一年次		学期及び曜時限	後期 木曜1限 他	教室名	406教室
担 当 教 員		落合 美枝	実務経験と その関連資格	病院で手術室・救急外来・内科・整形・消化器外科病棟に看護師長として勤務			
《授業科目における学習内容》							
保健医療福祉チームの一員として協働調整するために、看護の機能、役割を理解するとともに、人間理解を基盤とし、専門職業人として医療安全に対する意識と倫理観を養う内容とする。							
《成績評価の方法と基準》							
出席(10点) 授業態度と提出物(30点) 課題レポート(60点)で評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
参考資料(プリント)							
《授業外における学習方法》							
講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題							
《履修に当たっての留意点》							
毎回授業終了時にレポート提出あり。							
授業の方法		内 容			使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の歴史についてまとめることができる		参考資料(プリント)	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	看護の歴史				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護と言語聴覚士の関係についてまとめることができる		参考資料(プリント)	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	看護と言語聴覚士				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ナイチンゲールの功績とナイチンゲールの看護の定義を説明できる。		参考資料(プリント)	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	ナイチンゲールDVD視聴・視聴後レポートまとめ				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の対象である人間 とは何か。人間、命について考えることができる。		参考資料(プリント)	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	人間について考える 成長発達段階の理論				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活者としての人間をとらえ説明できる。 健康とは何か説明できる		参考資料(プリント)	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	生活者としての人間 健康の定義 ヘルスプロモーション				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義形式	授業を通じての到達目標	倫理やインフォームドコンセントについて説明できる。	参考資料(プリント)	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	倫理とは インフォームドコンセント		
第 7 回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の役割と機能について説明できる。 インシデントレポートについて説明できる。	参考資料(プリント)	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	看護の役割と機能 医療事故		
第 8 回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携について自分の考えをまとめることができる。	参考資料(プリント)	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	多職種連携について		